

資料番号	古文書名	標題	年代	差出・作成者	宛所	原・写・案	形状	数量	寸法 (cm)	欠損状況	一括状況	裏書・端裏書・包紙上書など	説明・注記	主題	閲覧制限
1	摂津国島下郡太田村寺川家文書	宗門御改帳 摂州島下郡太田村	文久3.3.-	太田村百姓代佐太郎 (印) ・年寄与左衛門 (印) ・同断文五郎 (印) ほかに1名/計6か寺	長柄御役所	原	縦帳	1冊	25.5×17.7				太田村本郷分 日蓮宗1寺 (檀家1軒2人) ・浄土真宗 (西) 5寺 (檀家63軒302人) の2部構成、それぞれ寺と村役人から別個に長柄役所宛 翌年用の付箋多数貼付 後世の表紙に糊付	戸口	
2	摂津国島下郡太田村寺川家文書	宗門御改帳 摂州島下郡太田村	元治 (2) .3.-	太田村百姓代佐太郎 (印) ・年寄与左衛門 (印) ・同断文五郎 (印) ほかに1名/計6か寺	長柄御役所	原	縦帳	1冊	25.0×17.4	虫損小			太田村本郷分 表紙年号 (元治1) は誤り 日蓮宗1寺 (檀家1軒1人) ・浄土真宗 (西) 5寺 (檀家63軒301人) 翌年用の付箋多数貼付 後世の表紙に糊付	戸口	
3	摂津国島下郡太田村寺川家文書	宗門御改帳 摂州島下郡太田村	元治1.3.-	太田村百姓代佐太郎 (印) ・年寄与左衛門 (印) ・同断文五郎 (印) ほかに1名/計6か寺	長柄御役所	原	縦帳	1冊	24.8×17.5	虫損中			太田村本郷分 日蓮宗1寺 (檀家1軒1人) ・浄土真宗 (西) 5寺 (檀家63軒311人) 翌年用の付箋多数貼付 後世の表紙に糊付	戸口	
4-1	摂津国島下郡太田村寺川家文書	〔旧籍謄本〕 (筆頭太田村678番地石田与兵衛)	昭和17.9.2	大阪府三島郡三島村長奥野茂里 (公印)	—	原	一紙	1通	25.5×36.0	紙焼け劣化	4-1・2を一括		4-2を後世の表紙に糊付、4-1を挟込み	戸口	○
4-2	摂津国島下郡太田村寺川家文書	〔旧籍謄本〕 (筆頭太田村678番地石田米吉)	昭和17.9.5	大阪府三島郡三島村長奥野茂里 (公印)	—	原	一紙	1通	25.5×36.0	紙焼け劣化	4-1・2を一括		4-2を後世の表紙に糊付、4-1を挟込み	戸口	○
5	摂津国島下郡太田村寺川家文書	摂州拾貳郡村々并枝郷之寄セ	〔近世〕 .-.	—	—	原	縦帳	1冊	24.3×17.1				7丁表より島下郡が始まり、冒頭に「寺川長兵衛」所持とあり 後世の表紙に糊付	土地	○
6	摂津国島下郡太田村寺川家文書	諸願留帳 太田村	天保2.7. (28～嘉永6.12.20)	〔庄屋長兵衛〕	—	原	縦帳	1冊	24.3×17.0				箱3-14の続き。大半は長柄役所宛、他に大坂町奉行宛あり。内容は多岐に渡り豊富 後世の表紙に糊付	村	○
6-1	摂津国島下郡太田村寺川家文書	覚 (男物着物7点書上げ)	〔近世〕 .-.	—	—	原	切紙	1点	15.7×34.7		6の丁間に挟む		盗難品か	雑	
6-2	摂津国島下郡太田村寺川家文書	乍恐書付を御届奉申上候 (太田村4組田方干損につき)		〔太田村四組庄屋・年寄〕	—	案	切紙	1通	15.2×40.2		6の丁間に挟む			災害	

6-3	摂津国島下郡太田村寺川家文書	〔寺川長兵衛記名紙片〕	〔近世〕 .-. -	—	—	原	切紙	1点	15.8×10.6		6の丁間に挟む		反古か	雑	
7	摂津国島下郡太田村寺川家文書	寺社御改付込帳 松平豊前守知行所摂津国島下郡太田村・同国菟原郡稗田村・同断新在家村 寺川彦右衛門	元禄5.10.-	摂州島下郡太田村庄や重介・年寄喜右衛門・同平右衛門ほか上野・夙4名、および稗田・新在家5名	—	写	縦帳	1冊	24.6×17.2			(奥書) 「于時寛政二年戊四月書写之」	寛政2年4月に書写し、延享4・安永5年書上げ時の記載を加える 後世の表紙に糊付	寺社	○
7-1	摂津国島下郡太田村寺川家文書	覚(太田村3か寺宝物裏書の写)	〔近世〕 .-. -	太田村安楽寺、大田村之内上野村西福寺、同夙村称念寺	—	写	切紙	1通	18.0×45.7		表紙袋綴じ内に挟む			寺社	
8	摂津国島下郡太田村寺川家文書	寺社御改付込帳 松平豊前守知行所摂津国島下郡太田村・同国菟原郡稗田村・同断新在家村(氏神拝殿屋根替普請願いにつき写し差上げ)	(文化6.1.-)	太田村庄屋長兵衛・年寄与左衛門	御奉行様	写	縦帳	1冊	24.6×17.4				表紙は7と同様に元禄5年10月付だが、太田村氏神の項を写し、修復の証拠として提出したものの後世の表紙に糊付	寺社	
9	摂津国島下郡太田村寺川家文書	寺院御改并二願覚書帳 大田村寺川清秀	宝暦4.2.24 (~同.閏2.21)	〔寺川清秀〕	—	原	縦帳	1冊	24.8×17.5	虫損小			太田村安楽寺修復につき田安役所・大坂町奉行所との折衝記録 後世の表紙に糊付	寺社	
9-1	摂津国島下郡太田村寺川家文書	〔年貢銀等算用覚〕	〔近世〕 .-. -	—	—	原	切紙	1点	23.6×14.0 (最大)	破損小	表紙袋綴じ内に挟む			金融	
10	摂津国島下郡太田村寺川家文書	太田四ヶ村寺御改帳 ひかへ	寛保1.3.-	太田村安楽寺、夙村称念寺、上野村西福寺	岡貞右衛門殿・佐藤勘兵衛殿	写	縦帳	1冊	24.8×17.4				住持に関する改め年号の元文6年を寛保元年に訂正、2月改元による 後世の表紙に糊付	寺社	○
11	摂津国島下郡太田村寺川家文書	寺社境内書上写 太田村	寛政2.5.-	太田村庄屋彦右衛門・年寄長兵衛・同断藤右衛門	田安御役所	写	縦帳	1冊	24.8×17.3				太田村本郷分 内容について各所に注記 後世の表紙に糊付	寺社	
11-1	摂津国島下郡太田村寺川家文書	〔太田村の内枝郷寺社境内書上げ覚〕	寛政2.5.-	—	—	写	切紙	1通	17.6×32.6		裏表紙内に挟む	(端裏書) 「上ノ・夙」	上野の西福寺・氏神、夙の称念寺・氏神	寺社	○
12	摂津国島下郡太田村寺川家文書	寺社并境内書上帳 摂州島下郡太田村	寛政2.5.-	太田村庄屋彦右衛門・年寄長兵衛・同断藤右衛門	田安御役所	案	縦帳	1冊	24.7×17.3				太田村本郷分 表題の并に丸を付け、安楽寺屋敷を除地から年貢地に変更、75に先行する 後世の表紙に糊付	寺社	
13	摂津国島下郡太田村寺川家文書	氏神社地書上写并不動書上写 太田村	寛政2.4.-	太田村庄屋彦右衛門・年寄長兵衛・同断藤右衛門	田安御役所	写	縦帳	1冊	23.9×17.0			(写2通の書出し) 「乍恐口上」	氏神社地が除地であると返答、地藏堂の有無問合せにつき石不動を紹介 後世の表紙に糊付	寺社	

14	摂津国島下郡太田村寺川家文書	寺社取調書上ケ帳 摂州島下郡太田村	慶応4.6.-	—	—	写	縦帳	1冊	24.4×17.1			太田村本郷分 氏神につき小社・祠・石造物まで詳細に記載 後世の表紙に糊付	寺社	
15	摂津国島下郡太田村寺川家文書	生産物書上ケ帳 摂州島下郡太田村四組	明治2.2.-	摂州島下郡太田村年寄中村文五郎・庄屋寺川長兵衛、同村之内上野年寄太田善左衛門ほか1名、および他枝郷役人4名	長柄御役所	写	縦帳	1冊	24.9×17.4			太田村4組分 米は極上米、菜種は相応、茶・果物・竹は少々、油稼ぎ・寒天製造 願い 後世の表紙に糊付	農業	○
16	摂津国島下郡太田村寺川家文書	茨木小間物屋平右衛門殿質入田地控へ	明和8.12.- / 安永1.12.-	太田村長兵衛、大田村兵助、同村治兵衛ほか4名	茨木小間物屋平右衛門殿	案 / 写	縦帳	1冊	25.0×17.8	明和8年12月の案文の後に安永1年12月の写を綴じる	(書出し)「相渡し申家屋舗・田畑之事」「預り申銀子之事」「小作請負証文之事」	4・5丁は2枚重ねで綴じる 大田村長兵衛が家屋敷・田畑を茨木村小間物屋平右衛門へ2回質入れ 安永1年12月は同9年12月を訂正したもの、最末文書は未訂正で9年のまま 後世の表紙に糊付	金融 土地	
17	摂津国島下郡太田村寺川家文書	神田名前帳 太田村	天明5.1.-	—	—	写	縦帳	1冊	23.7×16.8	虫損中		田畑19筆分、合計1町8畝8歩、高12石1斗8升5合 このほか3筆合計3反は、請米として計4石4斗7升、別に1筆あり(高記載なし) 後世の表紙に糊付	土地	
18	摂津国島下郡太田村寺川家文書	質田地高反別帳 摂州島下郡太田村四組	天明6.11.-	太田村庄屋彦右衛門(印)・年寄平左衛門(印)・年寄長兵衛(印)ほか1名、および枝郷役人9名	田安御役所	原	縦帳	1冊	24.9×17.6	虫損小		各郷ごとに反別分米集計、年貢銀高算出 枝郷の名請人、同役人の印は全て抹消 後世の表紙に糊付	土地 貢租	○
19	摂津国島下郡太田村寺川家文書	質田地高反別帳 摂州島下郡太田村四組	天明7.11.-	太田村庄屋彦右衛門(印)・年寄長兵衛(印)・同断藤右衛門(印)ほか1名、および枝郷役人9名	田安御役所	原	縦帳	1冊	24.2×17.2	虫損小		各郷ごとに反別分米集計、年貢銀高算出 後世の表紙に糊付	土地 貢租	○
20	摂津国島下郡太田村寺川家文書	松平越中守定信公御案文	天明7.- / 寛政3.10.5写	[書写]太田村寺川長兵衛	—	写	縦帳	1冊	25.0×18.2		(内題)「申聞候書附」	寛政の改革に関するもの。松平定信は天明7～寛政5年に老中 後世の表紙に糊付	雑	

